

第1回

淀江町誌編さん委員会

平成27年8月7日(金)

13:00～

淀江支所 第1会議室

1 議事

1 編さん委員長・職務代理者の決定

2 編さん誌の命名について

3 編さん基本計画について

別紙のとおり

4 トピックス内容について

別紙のとおり

5 目次案について

別紙のとおり

淀江町誌編さん委員会設置要綱

(設置)

第1条 淀江町誌の編さんに当たり、淀江町の地域に精通している者の意見を反映させるため、淀江町誌編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 淀江町誌（以下「町誌」という。）の編さんに関する基本的な計画（次号において「基本計画」という。）の策定
- (2) 基本計画に基づく町誌の編さん
- (3) 前2号に掲げるもののほか、町誌の編さんについて必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員6人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、町誌編さんが完了する日までとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下単に「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、委員の委嘱後初めての会議は、教育委員会が招集する。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(調査協力員)

第7条 委員会は、町誌の編さんに必要な調査、執筆等を行わせるため、調査協力員を置くことができる。

2 調査協力員は、委員会の推薦に基づき、教育委員会が委嘱する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局文化課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成27年6月10日から施行する。

淀江町誌編さん事業基本計画（案）

1 趣旨・目的

淀江町は、米子市との合併により平成17年3月31日新たに米子市として誕生した。このたび合併10周年を迎えたのを機に、昭和60年に発刊された淀江町誌編さん事業が終了し、以降合併までにいたるまでの淀江町の歴史を記録にとどめ、これを後世に伝え活用を図るとともに、市民の郷土に対する関心と愛着をより深め、地域文化を育み魅力あるまちづくりに資することを目的としてこの編さん事業を行うものである。

2 基本方針

(1) 淀江町誌編さん以降合併に至るまでの町全般に関連する、政治・経済・生活・文化・歴史など各分野にわたる資料を収集し、調査研究を加えた上で編さんする。

(2) 収集した行政資料及び歴史資料は、市民の共有財産であり、米子市をより理解するための資料として系統的に整理・保存し、活用を図る。

(3) 編さんにあたっては、地域・教育機関などとの連携を図りながら、調査研究、編さん事業をすすめていく。

(4) 広報などをとおして編さん経過等についての情報発信を行い、広く市民に周知を図るとともに、情報や資料の提供など市民に協力を呼びかけ、地域の活性化や協働意識の醸成を図る。

3 実施期間

平成27年度から平成28年度の2ヵ年とし、必要に応じ事業内容の見直しを行いながら、28年度末の刊行を目指す。

4 編さん事業の内容

1 調査・執筆・刊行

調査は、淀江町はもとより、関係地域などにおける淀江町に関連する歴史資料を対象に幅広く実施する。実施にあたり、市民及び関係者への協力も得るものとする。

○時代区分～町誌編さん発刊内容以降（昭和58年頃）から合併まで（平成16年度末）

執筆は、写真、図表等を用いながらわかりやすく親しみやすい文章で表現する。また、淀江町の発展過程を検証するものとなるため、客観的にかつ公正な立場で内容を記述していく。

刊行は、執筆内容を1冊にまとめたものを28年度末に行うものとする。
刊行物は、市内小中学校や図書館、関係機関に配布するほか、一般販売も行う。

体裁予定

A4版 縦 250頁程度

600部発行 予約配本

内容案（目次案）

- 1 社会（地域概要・自然災害・人口集落）
- 2 政治（財政・民生・衛生・消防警察・交通通信・行政）
- 3 産業経済（農林水産業・商業・工業・金融）
- 4 教育（学校教育・社会教育・文化財関係・交流活動）
- 5 その他資料（有文書目録・年表）

5 町誌編さんスケジュール

別紙のとおり

6 町誌編さん体制

（1）町誌編さん委員会

委嘱した委員で町誌編さんの基本計画、事業計画、管理運営など重要事項を審議、決定する。また、執筆や人材確保にも携わる。

（2）調査・執筆者

町誌編さん委員と調査・執筆者とで編集内容や支援等、情報共有を行う。

（4）町誌編さん事務局

淀江支所内に設置し、町誌編さん事業に関する事務全般を行う。

淀江町誌編さんスケジュール

項目 年月	編さん委員会	事務局		執筆者	
		事務	資料調査・原稿作成	町政関係	文化財関係 調査委託
平成27年4月					
5月					
6月			元淀江町職員による各年代ごとの事象ピックアップ調査(事前調査)		
7月					
8月	第1回編さん委員会開催(編さん基本計画決定、目次案)	事務局開設 広報	町政、統計資料収集		
9月	第2回編さん委員会開催(町誌仕様概略決定、執筆者候補案・調査員決定、来年度予算案)	仕様案作成			
10月		広報	調査協力員資料調査補助		
11月	第3回編さん委員会開催(執筆項目詳細検討)	執筆内容詳細検討			
12月					
平成28年1月	第4回編さん委員会開催(執筆者候補決定)	執筆者交渉→承諾			
2月		原稿様式案			
3月	第5回編さん委員会開催(予算説明・来年度方針決定)	執筆者説明会		原稿作成	
平成28年4月	第6回編さん委員会開催(執筆者報告・今後の方針)	執筆者契約	統計資料作成、補足調査	原稿作成	原稿作成
5月					
6月					
7月	第7回編さん委員会開催(執筆状況報告・挨拶原稿・表題原稿)				
8月				原稿締切り	原稿締切り
9月			統計、補足調査資料作成		
10月	第8回編さん委員会開催(原稿内容・集約確認、入札内容)		内容確認		
11月		入札準備・入札 チラシ作成	内容確認		
12月		校正	内容確認		校正
平成29年1月	第9回編さん委員会開催(発刊・広報・販売検討)	校正	内容確認		校正
2月		校正	内容確認		校正
3月	第11回編さん委員会開催(編さん完成後の方針)	校正 発刊	内容確認		校正

「淀江町誌」の目次(S60発行)

黎明の章
第1節 淀江町の地形と地質
1 地形
2 地質

第2節 地形の移りかわり
1 山陰地方の生い立ちと淀江
2 大山腹出物とその堆積
3 宇田川の沖積平野の形成
4 佐陀川の変遷と流痕
5 海岸線の変遷
6 地形と集落

第3節 気候
第4節 動植物

源虫編
原始の章
古代の章
中世の章
近世の章

地誌編
政治の章
第1節 財政
1 租税
2 戸長役場時代の財政
3 町村制後の財政
4 戦後の町村財政
5 町村合併後の財政

第2節 民生
1 社会福祉
2 民生委員制度
3 国民年金制度
4 保育所
5 淀江町社会福祉協議会
6 老人福祉

第3節 衛生
1 医療・衛生行政の推移
2 保健衛生
3 環境衛生
4 国民健康保険事業

第4節 消防
1 火消組
2 町村制後の消防
3 合併後の消防
4 現有消防力
5 歴代消防団長

第5節 交通・通信
1 道路
2 淀江町の交通用具の変遷
3 交通安全対策
4 鉄路
5 通信

第6節 新淀江町の誕生
1 合併までの経過
2 合併の協定と議決
3 新町の歩み
4 合併後の町議外議員

第7節 行政を担った人々
1 首長列伝
2 歴代助役・収入役
3 町村議会議員
4 合併後の町議外議員

社会の章
第1節 明治前期の社会の動き
第2節 明治後期の社会の動き
第3節 大正時代の社会の動き
第4節 昭和前期の社会の動き
第5節 昭和後期の社会の動き
第6節 災害
第7節 文芸活動について
1 文芸活動に努力した人
2 鳥取興業術風入賞・入選者
3 出版活動
4 文化財の保護

産業経済の章
はしあに
第1節 農業
1 農業
2 産業の変遷
3 生産基礎の整備
4 稲づりの変遷
5 養蚕
6 葉たばこ
7 果樹
8 畜産
9 農業の諸団体

林業
漁業
1 明治から大正にかけての漁家のくらし
2 各時代の農業の状況
3 漁法
4 漁業協同組合の沿革
5 漁業生産関係共同利用施設整備状況
6 推定灯台等
7 内水面養殖

第4節 商業
1 明治時代の商業
2 淀江商工会

第5節 工業
1 淀江町の工業のあらまし
2 各種工業とその移りかわり
3 新淀江町の工業の状況

第6節 淀江町の金融機関
1 金融機関の推移
2 現在の金融機関

教育の章
第1節 あらまし
1 教育の夜明け
2 明治時代の教育
3 大正前期の教育
4 昭和前期の教育
5 昭和後期の教育
6 明治・大正の社会教育
7 昭和前期の社会教育
8 昭和後期の社会教育

第2節 学校教育のあゆみ
1 淀江小学校
2 淀江中学校
3 養良校
4 淀江幼稚園

第3節 社会教育のあゆみ
1 公民館活動
2 同和教育の重点目標と各部の活動
3 社会体育
4 社会教育園保委員名簿

第4節 社会教育団体のあゆみ
1 青年団
2 婦人会

民俗の章
第1節 生活文化

「淀江町誌」の目次(案)

目次	概要	国体 庁舎移転	電算化
淀江町のあらまし	1 淀江町のあらまし 2 地域の区割り		
自然災害	1 台風・地震		
人口と集落	1 人口推移 2 世帯 3 集落の移りかわり		
財政	1 財政の推移 2 ハブル経済と淀江町 3 大型公共事業 4 防災		
民生	1 社会福祉 2 福祉の充実 3 民生委員制度 4 国民年金制度 5 保育所 6 淀江町社会福祉協議会	児童福祉 高齢者福祉	
衛生	1 医療・衛生行政の推移 2 保健衛生 3 環境衛生	基本接診 死亡原因 健康づくりのための取り組み 特別医療制度 国民健康保険制度 国民健康保険制度 介護保険制度 分別収集 処理場の設立 衛生施設組合設立 上下水道	
消防・警察	1 消防団組織 2 駐在所 3 環境衛生		
交通・通信	1 道路 2 淀江町の交通手段 3 交通安全対策 4 鉄道 5 通信	庁舎の移転 市街区域・調整区域 都市計画 公園と街なみ景観 青年団 姉妹都市 総合計画 町の施策・取り組み ふるさと創生1億円 夢みなど博覧会 合併の経緯	
行政	1 首長・収入役 2 助役・収入役 3 町議会議長 4 町の組織 5 都市計画		
農業	1 農業者の取り組み 2 周年事業の取り組み 3 町村合併 4 農業者の取り組み 5 農業者の取り組み 6 農業者の取り組み 7 農業者の取り組み 8 農業者の取り組み 9 農業者の取り組み		
商業	1 商店と大型系列店の進出 2 商店と大型系列店の進出 3 地産地消と特産品 4 観光・特産品 5 水産業		
工業	1 誘致企業・事業所 2 工業の状況		
金融	金融機関		
教育	1 学校教育 2 社会教育	学校週休5日制への対応・学校給食 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 青年団 婦人活動 公民館活動 青少年育成 文化活動	町音楽祭 傘市・花火 朝月会 人形劇
その他	3 交流活動	体育スポーツ 伝業 文化財 地域交流 国際交流	さんご節 町音楽祭 傘市・花火 朝月会 人形劇

さんご節
町音楽祭
傘市・花火
朝月会
人形劇

さんご節
ミュージカル
石馬八朔祭

さんご節
町音楽祭
傘市・花火
朝月会
人形劇

さんご節
ミュージカル
石馬八朔祭

第2節 1 衣生活
第3節 2 食生活
第4節 3 住生活
第5節 年中行事

第6節 産業と基制
第7節 1 基制
第8節 2 基制
第9節 1 民間伝承
第10節 1 伝説・昔話
第11節 2 いいならわし
第12節 3 まじない
第13節 4 民間療法
第14節 5 うたと民謡

第15節 民間信仰
第16節 方言
第17節 方言の家紋
第18節 幕末・維新期の結核創設とその活動
第19節 戊辰戦争と鳥取藩の動き
第20節 明治の戦役
第21節 日中戦争
第22節 太平洋戦争
第23節 淀江町戦没者名簿

第24節 宗教の章
第25節 初期仏教と上淀庵寺
第26節 寺院
第27節 宗教学法に登錄されている教会と古くからあった宗教

第28節 信仰の章
第29節 神道・神社
第30節 (地区・名水名木・文化財遺跡分布)

北尾
上淀
上福吉
高井
中西尾
本宮
西尾原
福平
福繁
今津
西原
上原
小波
小波
中
亀
佐
名水と総木
文化財・遺跡等分布図

第31節 港灣の章
第32節 港灣航史
第33節 近世の淀江港
第34節 近代の淀江港
第35節 隠使牛の思い出

大山寺縁起抄
山陰道伯州汗入郡淀江之埵白吉山王宮縁起
緒明寺由緒・興隆記
栢川三世縁起
栢川三世縁起
淀江町有文書目録
年表(明治以降)
野口雨情作淀江八景について

資料編

新修 米子市史 第十一巻 資料編・現代 目次

発刊にあたり
発刊のことば
凡 例
口 絵
目 次

米子市長 野坂 康夫
米子市史編さん協議会長 磯 信雄

序 章 数字で見る米子の戦後

1 人口と世帯数	2
1 人口の町区別動き	2
2 世帯の町区別動き	4
3 米子市50年間の人口・世帯の動き	6
4 米子市40年間の町区別人口・世帯の動き	6
5 太平洋戦争終戦前後の人口の動き	6
6 終戦前後の地区別人口の動き	6
2 人口動態の推移	7
昭和46年月別人口動態	7
3 米子市の産業別就業人口割合の変遷	8
1 産業別就業人口の割合	8
2 旧米子市の産業別就業者数	8
4 米子市の市域と面積	9
市域(昭和31年7月)	9
5 県境・市町境の確定	10

第1章 政 治

6 終戦を迎えた米子市	12
7 昭和20年10月の常会徹底事項	13
8 自治制度の改革	15
9 戦後の市長候補者推薦	15
10 中国要人の亡命事件	15
1 外務大臣からの電報	15
2 鳥取県警の記録	16
3 亡命事件関係者の証言	17
11 引揚者らへの対応	19
昭和21年	19
昭和22年	20
12 配 給	21
昭和21年	21
昭和22年	21

昭和23年	23
昭和24年	24
甘藷の配給で食糧管団に要望	25
ララ物資・災害救助対策など	25
市民生活	27
13 供出と食糧増産	28
1 食糧の増産計画	28
2 供出完遂国民運動	28
3 供米で軍政隊米子市議会で訓示(抄)	29
14 占領軍指示による都市調査報告	30
15 預金封鎖など金融緊急対策	32
16 初の婦人代議士	33
1 立候補の田中たつさんの公約	33
2 「婦人問題に身命賭す」初当選の田中たつ氏	34
17 進駐軍	34
1 米子地方の連合軍進駐	34
2 進駐軍慰安バザーと対応	35
3 市長、進駐軍へお願い	35
4 政党、協会等団体の結成禁止の通達	36
5 国旗掲揚について	36
6 婦人と市長らの座談会	36
7 米国人と日本婦人の子供の手続き	37
8 米国情報官と懇親会	38
18 天皇巡幸	38
1 天皇陛下御巡幸日程(抄)	38
2 坂口邸行在録(抄)	40
19 米子博覧会の開催	44
20 平和条約締結記念行事	50
21 自治体警察	51
1 新警察制度の発足	51
2 米子市警察署の発足	53
3 米子市警察署の廃止	53
22 自衛隊・美保基地	54

1 基地反対闘争	54	3 春日村との合併	96
2 周辺整備関係	57	4 伯仙町との合併	97
3 警察予備隊	58	33 加茂川を美しく	97
4 陸上自衛隊	60	1 川と共に歩んだ米子	97
23 旧三柳飛行場の敷地返還	65	2 加茂川を美しくする運動連絡協議会	97
24 市政をつかさどる首脳部	66	3 市民に公德心を呼び掛け	97
25 機構改革	68	4 加茂川を美しくする運動連絡協議会 規約	98
26 財政の推移	71	5 旧加茂川の水質	98
1 一般会計決算・歳入・歳出一覧表、グラフ	71	6 清流戻り、加茂川まつり	99
2 財政の膨脹	73	34 国際交流	99
3 財政再建計画策定上の検討事項	73	1 環日本海交流	99
4 財政再建計画	73	2 ネパールと岩村昇博士	104
5 財政再建計画の変更	74	35 夢みなど博覧会	104
6 財政再建完了確認書	74	1 山陰・夢みなど博覧会の開催	104
7 財政再建計画完了の告示	74	2 水鳥をテーマに「輝き・米子館」	105
27 市 税	75	3 市長あいさつ	105
1 戦後の財源難に税制の改正	75	36 中海干拓	106
2 米子市税増徴条例設定の件	75	1 干拓計画の推進	106
3 戦後、市民負担急増	77	2 淡水化事業中止へ	109
4 県・市民税の創設	77	3 彦名干拓	111
5 市税調定額の推移	78	4 市民運動	111
6 税制の改正	79	37 崎津干拓	115
7 市税100億円突破	79	1 崎津干拓事業の沿革	115
28 新庁舎	80	2 38人で耕作	115
29 米子市景観整備計画	80	3 崎津干拓増反農業協同組合の解散認可書の 起案文書	116
景観計画の承認	80	38 崎津地区開発促進公社	116
30 米子コンベンションセンター	82	1 (財)米子市崎津地区開発促進公社の設立	116
1 ビッグシップ	82	2 運営に関する覚書	116
2 施設	82	3 公社借入金にかかる損失補償契約の締結に ついて説明資料	117
3 コンベンションセンター きょう「船出」	83	4 土地利用計画の一部が決定	118
4 商工会議所の構想	83	5 米子崎津地区開発促進公社第61回理事会 報告・議案(解散)	118
31 都市計画	84	39 新産業都市	119
1 概要	84	1 新産業都市建設促進期成同盟会の設立趣意 書・決議書	119
2 米子市土地区画整理事業一覧表	86	2 新産業都市建設事業に係る国の負担割の引 き上げ一覧表	121
3 富士見地区区画整理事業	87	3 中海地区新産業都市の指定	122
4 皆生温泉土地区画整理事業	87		
5 米子駅前通り土地区画整理事業	88		
6 事業の概要	88		
7 主要な要望並びに陳情の処理	89		
8 都市計画	92		
9 相次ぐ高層建築	92		
32 合 併	94		
1 尚徳村及び五千石村との合併	94		
2 進む合併	95		

第2章 経 済

40 米子市の民力	124
-----------	-----

41 米子経済界関連略年表	125	56 市内中小企業・団体名簿	159
42 米子市商業の現状	127	57 誘致企業一覧	163
1 主な商店会の実態(昭和29年3月31日現在)	127	58 米子市の工業	164
2 商業店舗並に従業員数	128	59 日本パルプ	166
3 産業別世帯数及び人口調査	128	1 社宅団地買収契約	166
43 米子商工会議所	129	2 日本パルプ米子工場完成	166
1 米子商工会議所復活	129	3 米子工場の主要建物および規模	167
2 創立100周年を祝う	129	4 日本パルプ設置決定	167
3 創業100年企業一覧	129	5 市議会に建設促進委	168
4 新会館ビルが完成	130	6 廃液完全浄化設備に関する意見書	168
5 米子商工会議所歴代主要役員	130	7 日本パルプ工場に関する日吉津村内の動き	168
44 西部生協と商店街	131	60 米子製鋼、富益に移転	169
1 西部生協年譜	131	61 米子瓦斯、旗ヶ崎工業団地へ	170
2 反生協運動の発生と生協陣営の反撃(抄)	133	62 鉄工団地の造成	170
3 鳥取県西部消費生活協同組合主要勘定残高等	134	1 造成への経過	170
		2 米子鉄工センター	170
45 大型店進出対策	135	63 ナショナルマイクロモータ進出	171
46 活発な商店街対策	138	64 富士通進出	171
47 高島屋	140	65 酒造業	172
1 高島屋開店	140	1 米子酒造組合会員	172
2 東館など新築	140	2 課税移出量の変遷	172
48 米子しんまち天満屋オープン	141	3 激しい酒の価格競争	172
49 やよいデパート開店	141	4 醸造場の移転	172
50 朝日町通り商店会	142	5 地ビール会社を設立	173
51 米子市商業の推移	143	66 水温食品	173
1 商業集積地別小売業の推移	143	水温食品協会・研究所が発足	173
2 中心市街地地点別通行量の推移	144	67 日本たばこ産業	174
3 米子市の商業	146	1 工場のあゆみ	174
52 商業団地	148	2 民営に反対	174
1 米子総合卸センター	148	3 刻・年間100万キロへ	174
2 組合員	148	4 米子葉たばこ再乾燥工場の建設	175
3 米子食品工業団地	148	5 たばこ耕作組合	175
4 組合員並びに賛助会員名簿	149	6 米子工場の100億本生産体制確立	175
5 組合員事業の推移	150	7 たばこ産業の機構縦割方式に	176
6 米子中央食品卸売団地	150	8 日本たばこ米子原料工場閉鎖	176
7 米子食品卸売市場	151	68 観 光	176
53 万策尽きて店じまい	151	1 米子圏の観光的整備	176
54 金融機関	153	2 米子がいな祭	177
1 県下金融機関別預金貸出状況(20年代後半)	153	3 盛り上がる真夏の祭典	177
2 戦後混乱期の市内の金融機関	153	4 米子がいな太鼓誕生20周年	178
3 米子信用金庫 沿革概要	153	5 米子がいな祭の名称の由来	178
55 市内工業総覧	155	6 「万灯(竿灯)」と「ガイナガラ」	178
		69 史跡・施設	179
		1 米子の特産品	179

2	アジア博物館と井上靖記念館	180
3	米子小唄	181
70	皆生温泉	181
1	皆生温泉の歴史	181
2	旧調査方式による観光入込客数の推移	182
3	皆生温泉開発50周年祝う	182
4	防災・護岸工事終わる	183
5	皆生海浜公園を整備	183
6	歩行者優先の道路	184
7	皆生小唄	184
71	ゴルフ場	184
1	山陰初の公営ゴルフ場	184
2	ゴルフ場問題について	185
3	ゴルフ場問題解決について	188
72	湊山公園	189
1	米子都市計画公園	189
2	錦海埋め立て施設充実	189
3	新しい大規模な都市公園に	190
4	日本庭園	190
5	「猿ヶ島」や展望台	190
6	階段式親水性の護岸	191
7	「錦海八景」	191
73	水鳥公園	192
1	新世紀へ夢の国引を〜守りたい国際的な聖域	192
2	水鳥公園の建設が決定	192
3	待望の「野鳥の楽園」が完成	193
4	西日本屈指の野鳥の生息地	194
5	鳥類標識調査を実施	194
6	珍しい鳥の飛来の記録(1994~2000年度)	195
7	コハクチョウの日本海縦断ルートが確証	195
8	打ち上げ花火に水鳥激減	196
74	農地改革	196
1	農地改革の経過概要	196
2	農地買上げ実績表	197
3	自小作別農家戸数	197
4	旧米子市農家世帯と耕地面積の自小作区分	198
5	旧米子市耕地面積の動き	198
6	農業委員会	198
7	占領下の無血革命	198
75	食糧供出	199
1	戦後の食料難と配給制度	199
2	戦後の主要食糧の供出制度	199
3	米子市の食糧供出	200

4	強権供出との闘い	200
5	供米勸告状	200
76	生産者米価	201
1	米価の推移	201
2	稲作の生産調整	202
3	生産調整に対する農協の反応	202
4	自主流通米制度と農協の取り組み	202
5	米の年次別転作実施状況	203
6	農協の米集荷状況推移	204
7	他用途利用米の集荷状況等	204
77	農家の動き	205
1	専業・兼業別農家数の推移等	205
2	昭和27年、専・兼業別農家戸数、並びに農業従事者数	205
3	専業別農家の地区別比率	205
4	昭和32年町区別農家の専・兼業別戸数及び人口	206
5	昭和50年~平成7年における地区別・専業別農家数の推移	206
6	町区別 農家1戸当たりの家族数推移	207
78	耕地と作物の推移	208
1	経営耕地面積の推移	208
2	経営規模別農家数 昭和40年	208
3	地区別経営耕地面積	208
4	経営規模別農家の動き	209
5	昭和30年、経営規模別農家の町区別戸数と比率	209
6	昭和25年、経営規模別農家の地区別比率	209
79	家畜・養蚕	210
1	主要家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移	210
2	昭和25~35年の10年間に於ける家畜の増減	211
3	昭和35年を「100」とした昭和40年の家畜等の飼養割合	211
4	養蚕農家地区別戸数の推移	211
80	農業協同組合	212
1	組織の変遷、合併の経過	212
2	昭和38年、合併後の米子市農協常勤役員	212
3	設立認可申請書	213
4	昭和27年の農協活動状況	214
81	農業の近代化	215
1	ほ場整備事業実績	215
2	集落排水事業処理区調査	215
3	ほ場整備記念碑碑文	215
4	肥料の状況	216

5	農業の機械化	216
82	漁業・水産	218
1	昭和20年代初期の旧米子市の漁業	218
2	20年代後半の旧米子市の漁業	218
3	昭和20年代の米子市の水産業	218
4	昭和20年代、地域別漁獲量の推移	219
5	米子市営魚市場	219
6	取扱高増える	220
7	市営魚市場の廃止	220
8	年次別米子魚市場荷受数推移	220
9	漁業協同組合の変遷等	220
10	漁業補償問題	221
83	公益質屋	223
1	公益質屋の取扱状況	223
2	公益質屋の姿(抄)	223
3	公益質屋の廃止(抄)	223
84	鉄道	224
1	JR米子支社のあゆみ	224
2	戦後の鉄道	224
3	煤煙を追放する運動	225
4	動力車の燃料の変遷	225
5	進む複線化、山陰の鉄道躍進	226
6	伯備線・山陰本線の電化事業始まる	226
7	伯耆大山駅を改築	227
8	JR西日本米子支店スタート	227
9	山陰線に東山公園駅開業	227
10	手小荷物運輸成績の推移	228
11	米子駅の発着状況	229
12	米子駅の乗降客数の推移	229
13	後藤工場の沿革	229
14	戦後の歩み	230
85	法勝寺電車	232
1	日ノ丸自動車電車部が廃止	232
2	地方産業発展に貢献	232
3	廃止反対期成同盟も結成	232
4	無料で「さよなら電車」	233
86	陸運	233
1	国道9号の改修	233
2	米子バイパス供用開始	234
3	皆生大橋が完成	234
4	内浜産業道路相次いで開通	234
5	自動車道	234
6	自動車保有率	236
7	市内登録自動車台数推移	237

8	米子市勢要覽諸車調べ	237
9	米子市内タクシー運賃・業界推移	238
87	バス	238
1	便利になった長距離高速バス	238
2	米子駅発着路線バス輸送人員の推移	239
3	米子駅発着高速バス輸送人員の推移	239
88	米子港	240
1	輸移出入品は、材木類と飲食品	240
2	合同汽船時刻表	240
3	合同汽船、73年の歴史閉じる	240
4	米子港の高潮対策に護岸改良	241
89	通信	241
1	米子の電話局戦後史	241
2	NTT米子支店に改称	241
3	NTTドコモ携帯電話年度別契約数の推移	242
4	米子郵便局のあゆみ	242
5	米子郵便局が開局100年を迎える	242
6	米子郵便局の新局舎完成	243
90	民間航空	243
1	米子—大阪間に不定期便運航	243
2	米子—大阪間に定期便	243
3	米子—東京線実現	243
4	米子—大阪線にYS-11就航	244
5	空港ターミナルビル完成	244
6	東京便にジェット機就航	244
7	米子—名古屋間のコミュニーター航空路線	244
8	米子空港で外国籍機が初就航	244
9	米子空港の滑走路2,000mに延長	245
10	米子空港ビル増築工事完了	245
第3章 社会		
91	健康保養都市建設と社会福祉	248
1	健康保養都市	248
2	米子市社会福祉協議会運営団体(平成12年度)	249
3	米子市社会福祉協議会育成補助団体	250
4	米子市地区社会福祉協議会現況	251
5	助け合い	252
92	福祉・援護関係	254
1	昭和24年の状況	254
2	昭和27年、生活保護法による保護状況	254
3	昭和35年、生活保護法による保護状況	255
4	昭和42年度以降の保護状況	255

5	生活保護状況の推移	256
6	被保護世帯数・人員及び各種扶助状況の推移 (昭和62年以降)	256
93	国民健康保険と介護保険	257
1	国民健康保険	257
2	介護保険	259
94	高齢化と少子化への対応	261
1	高齢化の進展	261
2	老人福祉施策	261
3	少子化と児童福祉	262
95	医療	264
1	鳥取大学医学部附属病院における診療実績等	264
2	国立米子病院 沿革概要	266
3	国立米子病院における入院・外来診療実績等	267
4	戦後多かった胸部外科手術	268
5	山陰労災病院	269
6	同愛会 博愛病院	271
7	休日急患診療所開く	272
8	米子市内医療機関と従事者数の推移	273
9	児童・生徒の体位と疾患調査	273
96	ネズミ・寄生虫等の駆除	276
1	鼠駆除の統計等	276
2	敗戦直後の米子保健所の取り組み等	277
97	衛生保健関係	277
1	戦後の衛生関係事情	277
2	健康づくり推進事業	280
98	米子保健所	281
1	米子保健所年譜(抄)	281
2	農村と市部の摂取栄養調査	282
3	献血状況	282
4	公衆衛生と結核	283
99	災害	285
1	火災発生件数等の推移	285
2	米子の大火事	286
3	主要な自然災害	288
4	気象統計	291
100	防災	292
1	洪水予報が発令された場合の伝達系統	292
2	洪水予報指定河川	292
3	医療班を編成する機関等	293
4	救急告示医療機関(西部消防局管内分)	293
5	市街地避難場所一覧	294

6	西部消防局の新庁舎が完成	295
7	防災通信施設の推移	296
101	救急	297
1	消防局救急業務のあゆみ	297
2	救急救命隊がスタート	297
3	米子市救急出動件数	298
102	西部地震	299
1	平成12年(2000年)鳥取県西部地震	299
2	鳥取県西部地震被害状況	300
3	米子市の対応	303
4	米子市水道局の対応	304
5	被災者支援で陳情	306
6	り災証明及びり災届出証明の発行	307
7	米子市被災者住宅再建支援金交付条例の制定	308
8	地震の特徴と被害の概要	310
9	震度5弱以上を観測した地点の震度観測地	311
10	鳥取県西部地震のまとめ	312
103	中海の水質	313
1	中海における水質の経年変化	313
2	環境基準類型Aの水域を指定	314
3	中海水質汚濁防止対策協議会の規約	314
4	流入汚濁負荷量総括表	315
5	流入汚濁負荷量の割合	315
6	中海浄化浚渫事業の概要	316
7	中海・宍道湖が湖沼法の指定	316
8	中海の水質浄化施策推進を国に陳情	316
9	米子市中海水質保全計画の内容	317
10	米子市中海水質保全推進委員会の設置要綱	318
11	中海の水質汚濁状況	318
104	公害	320
1	藤本製薬が進出断念	320
2	藤本製薬進出阻止を働きかけ	320
3	“自然破壊は必至”	320
4	環境保全課を新設	321
5	日本パルプ米子工場廃液問題解決	322
6	米子市は日バと公害防止協定結ばず	322
7	沿岸漁業窮乏に追い込まれる	322
8	年度別苦情受理件数	323
105	消費生活	324
1	消費生活相談	324
2	米子市消費生活条例制定	324
3	相談の推移	325
4	消費者被害の苦情	325

106	上水道	326
1	米子市水道事業の進展状況	326
2	米子市水道事業主要年譜	326
3	米子市の水源地	327
4	水道料金変遷	328
5	美保軍用水道の移管交渉	329
6	境港市へ配水	330
7	美保ポンプ場の新送水管	331
8	日野川堤外地伏流水の取水許可	331
107	賀祥ダム	333
	米子市、賀祥ダムに参画	333
108	下水道	336
1	建設部下水道調査事務所新設	336
2	米子市の下水道事業	336
3	公共下水道による湖沼水質保全計画の策定	337
4	下水の高度処理	337
5	窒素・リン除去のしくみ	337
6	公共下水道計画概要	337
7	供用開始区域の状況	338
8	事業認可変更	338
9	中継ポンプ場の概要	338
10	汚水処理場の概要	338
11	下水道使用料の推移	339
12	処理区の概要	340
13	公共下水道全体計画図と併用開始済みの 下水道施設	341
109	ごみ・し尿	342
1	ごみ	342
2	し尿	347
110	農民組合・労働組合	350
1	市内労働組合一覧	350
2	西部地評歴代役員名簿	351
3	労働組合運動について	353
4	米子地方の主要な闘争の思い出	354
5	戦後鳥取県農民運動史 概要	357
6	山陰農民運動碑々文	360
7	農民組合の情報に関する件	360
8	新日農連の結成	361
9	西伯郡農村における農民運動	361
111	同和対策	362
1	米子市の同和対策と同和教育の歩み	362
2	米子市同和対策事業費	364
3	差別をしない 差別を許さない 市民になろう	364

4	同和教育係の設置	365
5	同和対策室の新設	366
6	今、子供たちは!! 同和教育のねらい	366
7	人権尊重都市宣言	367
8	米子市同和問題企業連絡会	368
112	大山の環境	369
1	道路網整備で汚れた大山	369
2	美化運動起こる	369
3	保勝会会則	369
4	大山の自然を守る会	370
5	東大山有料道路に反対	371
6	大山の環境変化	372
7	植生の変化	373
8	一木一石運動	373
9	復元事業実績	373
第4章 文化		
113	学制改革	376
114	米子市教育年表	378
115	小中学校の推移	382
1	新制中学の開設と変遷	382
2	小学校別在籍児童数推移	385
116	新制高校の変遷	387
1	軍国主義教育の禁止	387
2	学制変化の記録 K氏の学歴	387
3	新制高校の発足	388
4	総合高等学校制実施要項(抜粋)	388
5	高等学校(普通科)の通学区	388
6	学制改革による移行時の米子西高校務日誌	389
7	新制高等学校統合状況	389
117	鳥取県立淀江産業技術高等学校	392
	発刊にあたって	392
118	奉安殿の撤去	393
119	民主教育への模索	394
120	教育研究会	397
1	国語教育	397
2	新国語点描	399
3	ベスタロッター研究会	402
4	藤樹研究会	405
121	米子高校	410
1	私立高等学校の設立	410
2	米子高校の認可	410
3	市立高校へ	410

4	県立米子高校に	410	2	文人社報創刊号『THE PEN』	447
122	米子北高、北斗中・高校	411	3	本の国体・日本の出版文化展	448
1	米子北高等学校の認可	411	4	本の学校とは	448
2	昭和学園と米子北高	411	5	本の学校・大山緑陰シンポジウム	448
3	創立	411	133	戦後を明るく、スポーツ文化	449
4	北斗中学校・高等学校設置認可	411	1	戦後を明るく	449
5	10年を振り返り、さらなる躍進を	412	2	盛況裡に終わる 米子の文芸講演会	450
123	米子松蔭	412	3	山陰自由大学	451
1	米子経理学校設置認可等	412	4	民主主義科学者協会＝民科の地域活動	451
2	米子商業高校の開校	413	5	山陰歴史館の復活を祝って時代行列	452
3	米子松蔭高等学校へ校名変更	413	6	野坂寛治『米子界限』刊行趣意書	453
124	米子高専	414	134	麓人会	454
1	工業高等専門学校誘致可決	414	1	疎開文化人で麓人会	454
2	高専建設促進期成同盟会結成	414	2	「麓人」創刊	455
3	学校創設の経緯	414	3	「麓人」創刊のあとの歩み	457
4	学生の定員・現員	415	4	麓人50号記念(1990)公募作品	458
5	国立高専の建設	415	135	伯耆文化	458
125	鳥取大学医学部	416	1	伯耆文化研究会が発足	458
1	県外入学生の父兄あて 寄附の依頼	416	2	6年ぶり 研究会が復活	459
2	米子医専設置の条件等	416	3	中断の研究会を再生	459
3	米子医専の開設に伴う市有財産の貸与	417	4	伯耆文化研究会の再発足を祝す	459
4	米子医専誕生の頃	417	5	伯耆文化研究会会則	460
5	鳥取大学医学部の概要	419	136	同人誌「米子文学」	461
6	鳥取大学医学部・同附属病院 沿革概要	420	1	文峰	461
126	米子の私学の推移	423	2	第Ⅱ期「米子文学」創刊号	462
127	わかとり国体	426	3	同人誌「米子文学」半世紀の歩み	464
1	第40回国民体育大会	426	137	市民の活動	465
2	米子市の取り組み	428	1	米子市美術・工芸指導会組織趣意書	465
3	総合で県勢1位	429	2	米子市美術工芸指導会々員	466
128	スポーツ	430	3	改訂版 米子市文化協議会 規約	466
1	スポーツの主な成績	430	4	米子市文化協議会 加盟団体と活動メモ	467
2	東山総合運動公園の整備	433	5	米子に中規模ホールの建設を実現する会	473
129	トライアスロン	434	6	米子をおもしろくしよう会	474
1	県西部真夏の祭典に	434	7	米子を愛するふるさと塾	474
2	全日本トライアスロン皆生大会成績	435	8	旧加茂川・寺町周辺のまちづくりを進める会	474
130	新聞	436	138	素風コレクション	475
1	山陰日日新聞	436	1	素風館収蔵古代人形など寄附	475
2	米子市政記者クラブ	437	2	素風コレクションの概要について	475
3	日本海新聞	437	139	米子の文化財	476
131	放送	439	140	青木遺跡の保護運動	477
1	ラジオ	439	1	青木遺跡保護運動概略年譜	477
2	テレビ放送	442	2	守る会が行政訴訟	477
132	文人社・本の学校	443	3	遺跡を残せ	478
1	文人社	443			

4	史跡公園整備工事スタート	478	1	国家神道禁止措置	498
141	米子彫刻シンポジウム	479	2	系統別宗教団体の分布状態	498
1	「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」を	479	3	米子市宗教法人名簿	499
2	4人の作家が公開制作	479	4	市民の宗教に対する関心	503
3	「出会い・ふれあい」の輪広がる	479	5	市民の迷信俗信類についてのアンケート結果	504
4	米子野外彫刻リスト	480	6	キリスト教伝道者 藤沢武義(要旨)	505
142	公会堂建設	480	147	米子人気質	505
1	建設協議会を結成	480	1	米子商人(市民)の性格	505
2	工事報告	481	2	米子人気質	506
3	公会堂建設募金	482			
4	無事に大公会堂が完成	482			
5	800人を招いて祝賀会	483			
143	教育文化事業団	484			
1	公立民営の教育文化事業団発足	484			
2	事業報告	484			
3	米子市美術館開く	490			
4	文化ホールがオープン	491			
5	県立図書館設置を要望	491			
6	鳥取県立図書館から米子市立図書館へ	491			
7	米子青年会議所が児童文庫	493			
144	米子市連合婦人会	494			
1	女性問題推進事業	494			
2	男女共同参画推進	494			
3	米子市連合婦人会	495			
4	米子の婦人会	495			
145	社会奉仕団体	497			
	ロータリークラブ	497			
	ライオンズクラブ	497			
146	宗教	498			

記 録

148	戦後・米子市の選挙	508
1	選挙の沿革	508
2	主な選挙結果	510
149	表彰	548
1	名誉市民	548
2	特別功勞	551
3	市民栄光賞	552
4	米子市文化奨励賞創設	553
5	宇沢氏に文化勲章(抜粋)	555
150	英霊塔	556
	英霊塔建設	556
(付)	淀江町資料	557
1	町勢	557
2	文化財	560
3	町政をつかさどる首脳部(昭和58年以降)	561
4	昭和62年以降淀江町の町長・町議会議員選挙	562

編さん関係者564

あとがき

常任編集員 松尾 陽吉

2 文化財

(1) 淀江町の指定文化財

旧淀江町教育委員会提供

区分	分類	名称	所在地	指定年月日
国	史跡	鳥取藩台場跡(淀江台場跡)	今津字浜田267-1	S63.7.27
	〃	向山古墳群	福岡字向山・瓶山・坪根垣	S7.7.23
	〃	上淀廃寺跡	福岡字桜田・垣サゴ・法行	H8.3.29
	〃	妻木晩田遺跡	福岡/大山町富岡・妻木・長田	H11.12.22
	重要文化財	石馬	福岡(歴史民俗資料館)	S34.12.18
県	有形(美工)	絵画土器 角田遺跡出土	福岡(歴史民俗資料館)	H16.2.3
	〃	鉄茶釜	中間689	S32.2.6
	無形文化財	弓浜紆	淀江町・米子市・境港市	S53.12.12
町	有形(美工)	松南農兵隊関係遺品	西原他	S53.11.10
	民俗(有形)	石像・亀甲神社の道祖神神体	中間	〃
	民俗(無形)	淀江さんご節	淀江	〃
	〃	日吉神社神幸神事	西原	〃
	〃	上淀の八朔行事	福岡	H15.4.1
	無形文化財	淀江傘製造技術	淀江	S53.11.10

(2) 角田遺跡の絵画土器、県文化財に

鳥取県総務部総務課「鳥取県公報」所収

鳥取県教育委員会告示第3号

鳥取県文化財保護条例(昭和34年鳥取県条例第50号)第4条第1項の規定に基づき、次のとおり鳥取県指定保護文化財の指定をしますので、同条第3項の規定により告示する。

平成16年2月3日

鳥取県教育委員会委員長 中村 辰夫

名称	員数	所有者	所有者の住所	所在の場所
絵画土器 角田遺跡出土	1箇	淀江町	西伯郡淀江町大字西原1129-1	西伯郡淀江町大字福岡979-1

の指定地域について地域を追加して次のとおりとし、名称を向山古墳群に改める。

平成11年7月13日

文部大臣 有馬 朗人

所在地	地域
鳥取県西伯郡淀江町 大字福岡字向山	589番、601番、608番、620番、621番、 623番、626番、633番、638番、642番、 650番、667番ノ1、667番ノ2、668 番、673番、686番、692番、702番、 966番ノ1
同 字瓶山	523番のうち実測17297.06平方メートル
同 字坪根垣	1274番ノ1

右の地域内に介在する道路敷を含む。

(3) 遺跡岩屋古墳の名称を向山古墳群に

「官報」所収

○文部省告示第154号

文化財保護法(昭和25年法律第214号)第69条第1項の規定により、史跡岩屋古墳(昭和7年文部省告示第191号)

備考 1筆の土地のうち一部のみ指定するものについては、地域に関する実測図を鳥取県教育委員会及び淀江町教育委員会に備え置いて縦覧に供する。

(4) 伯耆古代の丘公園

旧淀江町教育委員会「伯耆古代の丘整備事業級」所収

事業名

“伯耆古代の丘”整備事業(自治省 地域づくり推進事業)

場所

鳥取県西伯郡淀江町大字福岡

実施期間

平成3~6年度

総事業費

1,460百万円

事業の目的

伯耆古代の丘公園は、“古代ロマンと名水の里”を目指している淀江町にとって、訪れた人が古代ロマンにひたっていただけの施設として、また、9号米子バイパスをはじめとするアクセス道路の整備で新たな町の観光の拠点施設として、平成7年4月22日オープンいたしました。

位置

公園は、日本最古級の仏教彩色壁画で有名な「上淀廃寺跡」より西に500mいった広域農道沿いで、町歴史民俗資料館の真向かいの所に位置し、国指定史跡「向山古墳群」、国の重要文化財「石馬」が出土したとされる「石馬谷古墳」、「瓶山」を取り込んだ約10haの公園です。

公園内には、岩屋古墳をはじめとする5~6世紀の古墳時代の前方後円墳、円墳等大小あわせて17基の古墳があり、当時中国大陸、朝鮮半島の交易で成長していった古代豪族の生活・文化を直に体験できる場です。

施設の特徴

施設内の特徴としては、現存の古墳以外では、公園の中央部に大型の人工池を配置し、推定2000年前から植生していたとされる「大賀蓮」、鳥取ゆかりの「大名蓮」をはじめとする白、ピンク、紅、黄色等40種類の古代ハスを植生させた「古代ハスの園」。6~9月にかけて様々なハスの開花が楽しめるハスのメッカとなりうる施設です。

次に、瓶山に弥生時代の集落を推定復元した「弥生村」です。

この「弥生村」は「高床建物」と弥生時代の古い建て方による円形の「堅穴住居」2棟からなり、特に「高床建物」は、淀江町稲吉の角田遺跡から出土した弥生時代中期の壺に描かれていた線刻絵画をもとに推定復元したもので、この絵画は佐賀県吉野ヶ里遺跡の物見やぐらのモデルともなっています。高さ15mにもおよび、展望広

場からは当時湖であった淀江の平野や日本海が、また、公園全体が一望できます。

さらには、弥生村となりに1992年の調査で発見された古墳時代中期のほたて貝式古墳「井手狭3号墳」を3分の2の大きさで推定復元した「ほたて貝式古墳」です。古墳周囲には葦石を巡らし、「井手狭3号墳」から出土した盾持人埴輪4体と朝顔型・円筒型埴輪100体のレプリカが設置してあります。

3 町政をつかさどる首脳部(昭和58年以降)

歴代町長

米子市総務部提供

森本和夫 (昭和58.9.20~平成11.9.19)

田口勝蔵 (11.9.20~ 17.3.30)

歴代助役

小泉 満 (昭和58.12.22~ 62.12.21)

田口勝蔵 (63.7.13~平成11.7.16)

森田辰男 (11.11.9~ 17.3.30)

歴代収入役

吹野純一 (昭和56.11.2~平成元.11.1)

(以後、助役兼掌)

歴代教育長

米子市教育委員会事務局提供

安江禎晃 (昭和58.10.4~平成11.10.3)

田口立身 (12.4.2~)

歴代議長

米子市議会事務局提供

田中礼二 (昭和58.9.26~ 62.9.22)

渡辺照夫 (62.9.25~平成3.9.22)

本田 登 (3.9.26~ 7.9.22)

湊 秀雄 (7.9.26~ 11.9.22)

渡辺照夫 (11.9.27~ 17.3.30)

歴代副議長

渡辺照夫 (昭和58.9.26~ 62.9.22)

砂口卓也 (62.9.25~平成3.9.22)

角 積 (3.9.26~ 7.9.22)

森田昭吾 (7.9.26~ 11.9.22)

田中丞省 (11.9.27~ 15.9.22)

森川敏秀 (15.9.25~ 17.3.30)

(3) 孝霊山麓・阿弥陀川流域の主な遺跡の発掘史年表

孝霊山麓・阿弥陀川流域 (1)

西暦 和暦	大山町			米子市
	①中山町	②名和町	③大山町	④淀江町
1950				
1951				
1952				
1953				
1954				
1955				
1956				
1957				
1958				
1959				
1960				
1961 (昭和36)				④上ノ山古墳 (淀江1)
1962				
1963				
1964				
1965				
1966				
1967				
1968				
1969				
1970				
昭和45				
1971				
1972			③長田玉谷住居址 (大山1)	
1973				
1974		③源平山古墳 (大山2)	④山石馬谷地区・中西尾地区 (淀江2)	
1975	①小松谷遺跡 (中山1)	③大新田遺跡 (大山3)	④市の坪地区・高木地区・山崎地区 (淀江3)	
昭和50				
1976	①高塚古墳 (中山2)	②高田第3遺跡 (名和1) ②名和館跡・門前礎石群・ハンボ塚 (名和2)	④西岡畑地区 (淀江4)	
1977		②栢原遺跡 (名和3) ③妻木晩田 (前1) 松尾頭遺跡 (大山4) ④晩田遺跡 (淀江5) ②西ノ峰遺跡・浜ノ坂遺跡 (名和4)	④大転場古墳 (淀江6)	
1978	①樋口遺跡 (中山3)	②山村遺跡 (名和5) ③新田原遺跡 (大山5) ③塚田遺跡 (大山6) ④妻木晩田 (前2) 松尾頭遺跡 (大山7)	④沓町田・深田・山崎地区・学 堂・宮の前・寺田地区 (淀江7)	
1979	①長野1・2号墳・丸塚古墳・高橋1号墳 (中山4)	③長田遺跡 (大山8)	④鮎ガ口地区・河原田地区 (淀江8)	
		②ハンボ塚 (名和6) ②釈迦堂古墳・南川遺跡・豊成19号墳 (名和7)		

孝霊山麓・阿弥陀川流域 (2)

西暦 和暦	大山町			米子市
	①中山町	②名和町	③大山町	④淀江町
1980		②菅原第1遺跡 (名和7)	③原・蔵岡第一・蔵岡第二・上野第二遺跡 (大山9)	
昭和55				④角田地区・礎利・宮廻り地区 (淀江8)
1981			③向原古墳群 (大山10)	
1982		②東坪1号墳 (名和8)		
1983		②上寺谷たたら跡 (名和9)		④壺瓶山第1遺跡・壺瓶山27・29・30・42号墳 (淀江9)
1984		②大仙道西遺跡・角塚遺跡A・D地区 (名和10)		
1985				④向山2・6・8号墳 (淀江12) (淀江19)
昭和60				
1986	①八重第3遺跡 (中山5)	②堂山遺跡・角塚遺跡 (名和11)		④坂の上遺跡 (淀江10) ④井手挾遺跡 (淀江11) ④向山3・7号墳 (淀江12) (淀江19) ④百塚古墳群・百塚第6遺跡・壺瓶山第4遺跡 (淀江13)
1987		②東坪第1遺跡 (名和11)		④岩屋古墳・長者ガ平古墳・向山4・2・6・7・8号墳・ 瓶山1・2・3号墳 (淀江15) (淀江19)
1988			④百塚第1遺跡 (淀江14) ④向山1・5・2・6・7・8号墳 (淀江15)	④大下畑遺跡・百塚第5遺跡 (淀江16)
昭和63				④百塚53・105・106・107号墳・原田遺跡 (淀江17) ④百塚古墳群・今津岸の上遺跡 (淀江20)
1989		②茶畑第2遺跡 (名和12) ③平第2遺跡 (大山12)		④百塚第1遺跡 (淀江18)
平成元年				④石馬谷古墳・瓶山1・2・3・4号墳 (淀江19) ④百塚第1・4遺跡・小波上古墳群 (淀江20) ④今津岸の上遺跡 (淀江21)

孝霊山麓・阿弥陀川流域(3)

西暦 和暦	大山町			米子市
	①中山町	②名和町	③大山町	④淀江町
1990 平成2		②東高田遺跡(名和13) ②東高田遺跡(名和14)	③仁王堂遺跡(大山13) (平第2遺跡)	④百塚古墳群・百塚第4遺跡(淀江23) ④小波上10・11・12号墳(淀江24) ④大下畑遺跡・小波原畑遺跡(淀江25) ④福岡遺跡 1～4区(淀江31)
1991 平成3			④上淀廃寺(第1次調査)(淀江22)(淀江45) ④百塚第4遺跡・百塚81・82・84号墳(淀江27) ④今津岸の上遺跡(淀江28) 小波原畑遺跡(淀江29) ④福岡遺跡 5区(淀江31) ④上淀廃寺(第2・3次調査)(淀江32)(淀江45) ④百塚第4遺跡・第8遺跡(淀江33) ②大塚地区(名和14) ④今津岸の上遺跡(淀江34) ④井手跡遺跡 1区(淀江37)	
1992 平成4	①石井垣城跡(中山7)		③妻木晩田(前3)妻木新山遺跡(大山14) ④北尾宮廻遺跡(淀江30) ④井手挾遺跡(淀江34) ④今津塚田遺跡・福岡遺跡(6区)(淀江35) ④上淀廃寺(第4次調査)(淀江36)(淀江45) ④井手跡遺跡 2区(淀江37) ④井手挾遺跡(淀江38)	
1993 平成5		②門前12号墳(名和15) ④福岡谷ノ上遺跡・向山9号墳(淀江39) ④小波林ノ奥遺跡(淀江40) ④大下畑遺跡・壺瓶山35号墳(淀江41) ②角塚遺跡・長者原遺跡(名和16) ④妻木晩田(前6)小真石清水遺跡・(8次)晩田遺跡群(洞ノ原地区)(淀江42) ③妻木晩田(前5)妻木新山遺跡・妻木山遺跡・松尾頭遺跡・松尾城跡(大山15) ④上淀廃寺(第5次調査)(淀江45) ③妻木晩田(前4)妻木新山遺跡(大山16) ④百塚第7遺跡(淀江46) ④妻木晩田(前7)小真石清水地区(淀江53)		
1994 平成6		③妻木晩田(前9)妻木山遺跡(大山16)	④日吉塚古墳(淀江42) ④百塚第5遺跡・小波狭間谷遺跡(淀江43) ④百塚第7遺跡(8区)(淀江44) ④百塚第7遺跡3区(淀江48) ④西尾原1号横穴墓(淀江49) ④百塚第7遺跡(淀江51)	
1995 平成7		②文珠領遺跡・倉谷横穴Ⅱ群・名和公園裏4号墳・栢原遺跡(名和17) ②大塚屋敷遺跡・大塚第2遺跡・大塚第3遺跡(名和18) ④百塚古墳群(淀江51) ③妻木晩田遺跡 第1次調査 松尾頭地区(大山20) ④中間36号墳・上淀廃寺(第6次調査)・百塚古墳群・百塚第7遺跡(淀江55)		
1996 平成8	①下甲拔堤遺跡(中山9) ①退休寺遺跡(中山10) ①御崎古墳群(中山12)	②栢原遺跡(名和19) ②名和公園裏古墳群(名和20) ③妻木晩田遺跡 第1次調査 洞ノ原・松尾城地区(大山23) ②倉谷横穴Ⅱ群(名和21) ④百塚第1・2・7遺跡・百塚古墳群(淀江54)(淀江57) ④小波城跡(淀江56) ②押平第1遺跡(名和22) ④妻木晩田遺跡 第1次調査 洞ノ原地区・晩田山古墳群(淀江61)	③妻木晩田遺跡 第1次調査 妻木山地区(大山21)	
1997 平成9	①細工塚遺跡Ⅰ(中山13) ①細工塚遺跡Ⅱ(中山14) ①退休寺第1遺跡(中山15) ①住吉第2遺跡・退休寺第1遺跡(中山16) ①住吉第2遺跡(中山17) ④上淀廃寺出土壁画・塑像調査開始(淀江63)	②門前第3遺跡(名和23) ③赤松中横原遺跡(大山17) ④小波上遺跡(淀江58) ②茶畑山道遺跡(名和25) ③平6号墳(平狐塚古墳)(大山18) ③妻木晩田遺跡 第1次調査 妻木新山・仙谷地区(大山22)		
1998 平成10	①御崎古墳群(中山18) ①御崎第1遺跡 ・御崎第2遺跡(中山19)	②門前第3遺跡(名和24) ③清原遺跡(大山19) ④史跡淀江台場跡(淀江59) ②長者原遺跡(名和26) ④上淀廃寺跡(淀江60)		
1999 平成11	①赤坂後口山遺跡(中山20) ①石井垣城跡(中山21)	②古御堂遺跡(名和27) ②長者原遺跡(名和28)	③妻木晩田遺跡 第2次調査 仙谷地区(大山22) ③妻木晩田遺跡 第2次調査 洞ノ原地区(大山23) ③妻木晩田遺跡 第2次調査 妻木山地区(大山26) ④小枝山瓦窯跡(淀江64)	

孝霊山麓・阿弥陀川流域(4)

西暦 和暦	大山町			米子市
	①中山町	②名和町	③大山町	④淀江町
2000 平成12	①田中川上遺跡(中山22) ②大塚岩田遺跡・大塚塚根遺跡(名和29) ③莊田墳墓群(大山24) ③播磨洞遺跡(大山25) ②坪田遺跡(名和31) ③妻木晩田遺跡 第2・3次調査 妻木山地区(大山26) ④日吉塚古墳(淀江64)			
2001 平成13	①茶畑六反田遺跡・押平弘法堂遺跡(名和33) ③妻木晩田遺跡 第5次調査 妻木山地区(大山26) ④福岡柳谷遺跡(淀江65) ②高田第10遺跡(名和41) ④上淀廃寺(第9次調査)(淀江65) ④妻木晩田遺跡 第4次調査 洞ノ原地区(淀江69)			
2002 平成14	①退休寺飛渡り遺跡(中山23) ②御来屋小塚原遺跡(名和32) ④上淀廃寺(第8次調査)(淀江64) ①下市築地ノ峰東通第2遺跡 ②坪田遺跡(名和34) ③妻木晩田遺跡 第6次調査 洞ノ原地区(大山27) ④百塚第7遺跡(淀江67) ・第3遺跡(中山24) ③妻木晩田遺跡 第7次調査 松尾頭地区(大山27) ④日吉塚古墳(淀江70) ①柴田古墳群(中山25) ③福岡播磨洞遺跡・安原溝尻遺跡(大山28) ③妻木法大神遺跡(大山29)			
2003 平成15	②名和衣装谷遺跡・古御堂金蔵ヶ平遺跡(名和35) ③妻木晩田遺跡 第8・9次調査 妻木山地区(大山30)(大山35) ②名和乙ヶ谷遺跡(名和36) ②古御堂笹尾山遺跡(名和37) ②茶畑第1遺跡(名和38)(名和42) ②押平弘法堂遺跡・押平天王屋敷遺跡・茶畑山道遺跡(名和39)(名和40) ④上淀廃寺(第10・11次調査)(淀江72) ①退休寺遺跡(中山26) ②押平尾無遺跡(名和43) ②古御堂笹尾山遺跡(名和44) ④上淀廃寺(第14次調査)(淀江76)			
2004 平成16	①築地ノ峰第2遺跡(中山27) ②古御堂新林遺跡(名和44) ③妻木晩田遺跡 第10・11次調査 妻木山地区(大山32)(大山35) ①退休寺遺跡 ・退休寺飛渡り遺跡(中山29) ②名和乙ヶ谷遺跡 名和小谷遺跡(名和46) ④上淀廃寺(第12次調査)(淀江72) ②名和飛田遺跡(名和48) ③阿弥陀堂地区(新・大山1) ④百塚第7遺跡・百塚古墳群(淀江73)			
2005 平成17	①梅田萱峯遺跡(中山28) ③妻木晩田遺跡 第12・13・14次調査 妻木山地区(大山33)(大山35) ②名和中畝遺跡(名和47) ②門前上屋敷遺跡(名和49) ③大山寺地区(新・大山1) ②門前第2遺跡(葛蒲田地区)(名和50) ②荒田遺跡(名和51) ②富長第1遺跡(名和52) ②門前第2遺跡(西畝地区)(名和52)			
2006 平成18	①梅田萱峯遺跡1区(中山30) ②門前上屋敷遺跡(名和53) ③妻木晩田遺跡 第15次調査 松尾頭地区(大山34) ②門前鎮守山城跡(名和53) ③妻木晩田遺跡 第16次調査 松尾頭地区(大山34) ②門前第2遺跡(葛蒲田地区)(名和54) ③妻木晩田遺跡 第17次調査 松尾城地区(大山34) ②茶畑六反田遺跡(4区)(名和55) ③石の大鳥居地区(新・大山1) ④小波泉原遺跡(米子163)			
2007 平成19	①梅田萱峯遺跡1・3区(中山31) ②門前上屋敷遺跡(名和53) ③妻木晩田遺跡 第18次調査 妻木新山地区(大山36) ①梅田萱峯遺跡2区(中山32) ②茶畑遺跡六反田(5区)(名和55) ③妻木晩田遺跡 第19次調査 松尾頭地区(大山36) ②坪田遺跡(新・大山3)			
2008 平成20	①梅田萱峯遺跡4・5区(中山33) ②文珠領遺跡(新・大山2) ①梅田東前谷中峯遺跡(中山34) ③妻木晩田遺跡 第20次調査 松尾頭地区(大山38) ①梅田六ツ塚遺跡(中山34)			
2009 平成21	①梅田萱峯遺跡6区(中山35) ③妻木晩田遺跡 第21次調査 松尾頭地区(大山39) ③妻木晩田遺跡 第22次調査 松尾頭地区(大山) ②豊成上神原遺跡(新・大山) ②豊成上金井谷峰遺跡(新・大山)			